

令和二年十一月九日

第三十六回  
産業功勞者表彰

事  
績  
概  
要

三  
重  
県



川<sup>かわ</sup>  
辺<sup>べ</sup>  
千<sup>ち</sup>  
秋<sup>あき</sup>

津  
市

## 事 績 概 要

氏は、平成二十二年からJA津安芸経営管理委員会の委員を務め、水稻を中心とする管内農産物の品質向上や農業機械レンタル事業の創設を通して農業生産者の経営発展を支え、地域農業の維持・発展に貢献した。

平成二十五年からはJA職員経験者として初めて同委員会の会長に就任し、地域の担い手育成とともに、営農指導に取り組むJA職員の育成にも尽力した。

また、プライベートブランド米「安濃津ロマン」による地産地消の推進、高校生や大学生など若い世代をターゲットにした情報発信など、さまざまな分野で強いリーダーシップを発揮し、常に『生産者とともに』を信条に、先頭に立って取組を行ってきた。

このように、氏の地域農業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。



松<sup>まつ</sup>  
倉<sup>くら</sup>  
敬<sup>けい</sup>  
子<sup>こ</sup>

松  
阪  
市

事  
績  
概  
要

氏は、四十一年間の長きにわたり茶生産に従事し、松阪地域で初めて茶生産者として栽培・加工・販売を一貫経営する有限会社深緑茶房で、茶製品の直売や日本茶喫茶店舗の開設と運営に尽力するなど、伊勢茶の振興と知名度向上に貢献した。

また、平成六年には地域の女性農業者による組織を立ち上げ、精力的な活動が三重県農村女性アドバイザー制度の創出に繋がった。自身も平成十二年から十八年間同アドバイザーを務めるなど、農業における女性活躍の先駆けとなった。

さらに、平成二十五年には女性農業者らと株式会社真夢農和を設立し、地元農産物を使った農家レストランの運営を通して、地域振興に貢献するとともに、子育て女性に働く場を提供している。

このように、氏の地域農業の振興発展と女性活躍の推進に寄与した功績はまことに顕著である。

野<sup>の</sup>  
地<sup>じ</sup>  
洋<sup>ひろ</sup>  
正<sup>まさ</sup>

熊  
野  
市



事  
績  
概  
要

氏は、平成五年に野地木材工業株式会社代表取締役  
に就任し、地域で唯一となる製材工場のJAS認証を  
取得するなど、品質性能の向上と安定供給に尽力した。  
特に、環境負荷の低減を図るため、木屑炊きボイラー  
を導入して木材乾燥の熱源として活用するなど、環境  
に配慮した経営に努めている。

また、平成十七年から熊野木材協同組合理事長に就  
任して、後継者育成組織の設立に尽力し、若い世代の  
人材育成に努めている。

さらに、平成二十八年からは三重県木材組合連合会  
会長として県産材の需要拡大を図るため、県産認証材  
「三重の木」の生産奨励、JAS制度の普及推進、公共  
建築物の木造・木質化推進など木材産業の基盤強化と  
経営の安定に尽力している。

このように、氏の木材産業の振興発展に寄与した功  
績はまことに顕著である。



小<sup>こ</sup>  
柴<sup>しば</sup>  
眞<sup>しん</sup>  
治<sup>じ</sup>

津  
市

事  
績  
概  
要

氏は、平成九年に株式会社三重電子計算センター代表取締役社長に就任し、安全・安心で高品質なサービスの提供に注力するとともに、「@蔵station」などの行政事務サービスを提供し公共サービスの向上に寄与している。さらに、産学官連携にも取り組み、金融機関や県等と連携しICTイベントを実施するなど、業界の人材育成に尽力している。

また、三重県中小企業団体中央会や津商工会議所の役員として地域企業の連携強化を主導するほか、安濃津よさこい組織委員会、津まつり実行委員会において地域文化の振興に取り組んでいる。他にも介護老人保健施設「トマト」の経営にも尽力するなど、幅広い分野において活動されている。

このように、氏の業界の人材育成や地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。



玉<sup>たま</sup>  
木<sup>き</sup>  
信<sup>しん</sup>  
介<sup>すけ</sup>

名古屋市

## 事績概要

氏は、平成十二年から現在に至るまで三重県鐵構工業協同組合の組合運営の中核として、組合内に人材確保検討委員会を発足させ人材確保に努めるとともに、組合員向け県外先進地視察研修を実施するなど業界の人材育成に寄与してきた。

また、株式会社中央鐵骨では、中部地区で初めて鉄骨加工業界では取組の少なかった狭開先溶接法を導入し、使用する溶接材料の削減など環境対策に努めるとともに、作業時間を短縮し生産性の向上を実現した。工場建屋の増改築や設備投資も積極的にを行い、生産量と売上を伸ばし、同社は地域を牽引する企業となっている。

さらに、三重県中小企業団体中央会の理事を務めるなど地域産業の振興のため幅広い活動を行っている。

このように、氏の業界の人材育成や地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

吉<sup>よし</sup>  
川<sup>かわ</sup>  
勝<sup>かつ</sup>  
也<sup>や</sup>

鳥  
羽  
市



事  
績  
概  
要

氏は、平成二十六年に一般社団法人鳥羽市観光協会会長に就任し、鳥羽市の主要産業である漁業等の一次産業と観光を結びつけた事業を積極的に展開するほか、海女文化を広く海外に発信するために実行委員会を立ち上げるなど、鳥羽市を含む伊勢志摩地域の観光振興に多大に貢献した。

また、株式会社サン・サービス及び株式会社サン浦島にて五つの宿泊施設を経営し、自然との共存をうたう「御宿The Earth」など世界からも評価される旅館づくりを行い、宿泊施設経営で鳥羽の観光振興をけん引している。

さらに、鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会の設立に尽力、鳥羽市温泉振興会会長として活動するなど多方面で産業発展に貢献している。

このように、氏の観光と地域産業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。



P-00061

この印刷物は、CSR  
に取り組む印刷会社が  
製作した印刷物です。



GREEN PRINTING JFPI

P-B10216

この印刷製品は、環境に配慮した  
資材と工場で製造されています。

[表紙・本文]

この冊子は再生紙を使用しています